

令和8年4月

# 時習館高等学校附属中学校 開校



時習館附属中学校は  
国際バカロレア候補校になりました

## 中高一貫6年間の教育理念

自他及び社会の幸せ（ウェルビーイング）の実現を目指し、多様性を尊重し、未知なる課題に対して正面から向き合い、「**自考自成**」（自ら考え自ら成す）の精神で行動できる人材を育成する。

## 「自考自成」と「ウェルビーイング」を実現する生徒の姿

**私がやります！**～何ごととも自分事としてとらえ、当事者意識をもって主体的に取り組む生徒～

生徒の知りたい！やりたい！を引き出し、支援する教育活動に取り組みます。「あなたはどう思う？」「どうしたい？」を問い続けます。

**出し合う！認め合う！**～思いや個性を出し合い、認め合うことができる生徒～

お互いの違いを生かし、多様な考えを組み合わせる価値を重視します。生徒を主語にして考え、安心感のある学校を作ります。

**まずやってみる！**～あらゆる場面で、失敗を恐れず何度でも挑戦する生徒～

結果ではなく過程を重視し、一歩踏み出す姿勢を応援します。世界と触れ合う機会や、新たな可能性に気づく機会を数多く提供します。

## 学びの具体

### 1 逆向き設計

逆向き設計とは、学習におけるすべての知識や技能を教師が与えて生徒を山頂（学びのゴール）まで連れていくのではなく、生徒自身が山頂までの道筋を考えて、計画的に準備したり、試行錯誤したりしながら山頂を目指していくイメージです。以下の①～④は、逆向き設計の単元の進め方（例）です。

① 単元最初の授業で、教師がゴールを示します。

- ・この単元で、何を身に付けてほしいのか。
- ・この単元を学ぶことに、どんな意義があるのか。
- ・最終の評価課題は何か（レポート、プレゼン、作品など）
- ・何ができると、どう評価されるか（評価基準）



② 生徒は評価課題を構想し、完成のために何が必要か逆算し、学習を進めます。

- ・個人で構想するので、完成する評価課題の内容は全員が異なります。  
（評価課題「理科実験ショーをやってみよう」生徒の構想例  
⇒ バーナーを使って実演／氷で冷やす／動画でプレゼン など）
- ・特に単元の前半においてグループで活動する場合がありますが、最終的には個人で評価課題に取り組むみます。

③ 教師は生徒へのアドバイスや、途中評価で生徒へのフィードバックを行います。

- ・答えを示すのではなく、「こうするともっとよくなる」というスタンスを心掛けます。

④ 教師は最終の評価課題を評価し、単元ごとに生徒及び保護者に伝えます。

### 2 教育課程編成表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年			国語 4			社会 3			数学 4			理科 3			音楽 1.5 美術 1.5 3 (+0.4)		保健体育 3			技術 家庭 2			外国語 (英語) 4			道徳 1		総合 2 (+0.6)		特活 1
2年			国語 4			社会 3			数学 3.5 (+0.5)			理科 4			音楽 1 美術 1 2		保健体育 3			技術 家庭 2			外国語 (英語) 4			道徳 1		総合 2.5 (+0.5)		特活 1
3年			国語 3.5 (+0.5)			社会 4			数学 4			理科 4			音楽 1 美術 1 2		保健体育 3			技術 家庭 1			外国語 (英語) 4.5 (+0.5)			道徳 1		総合 2		特活 1

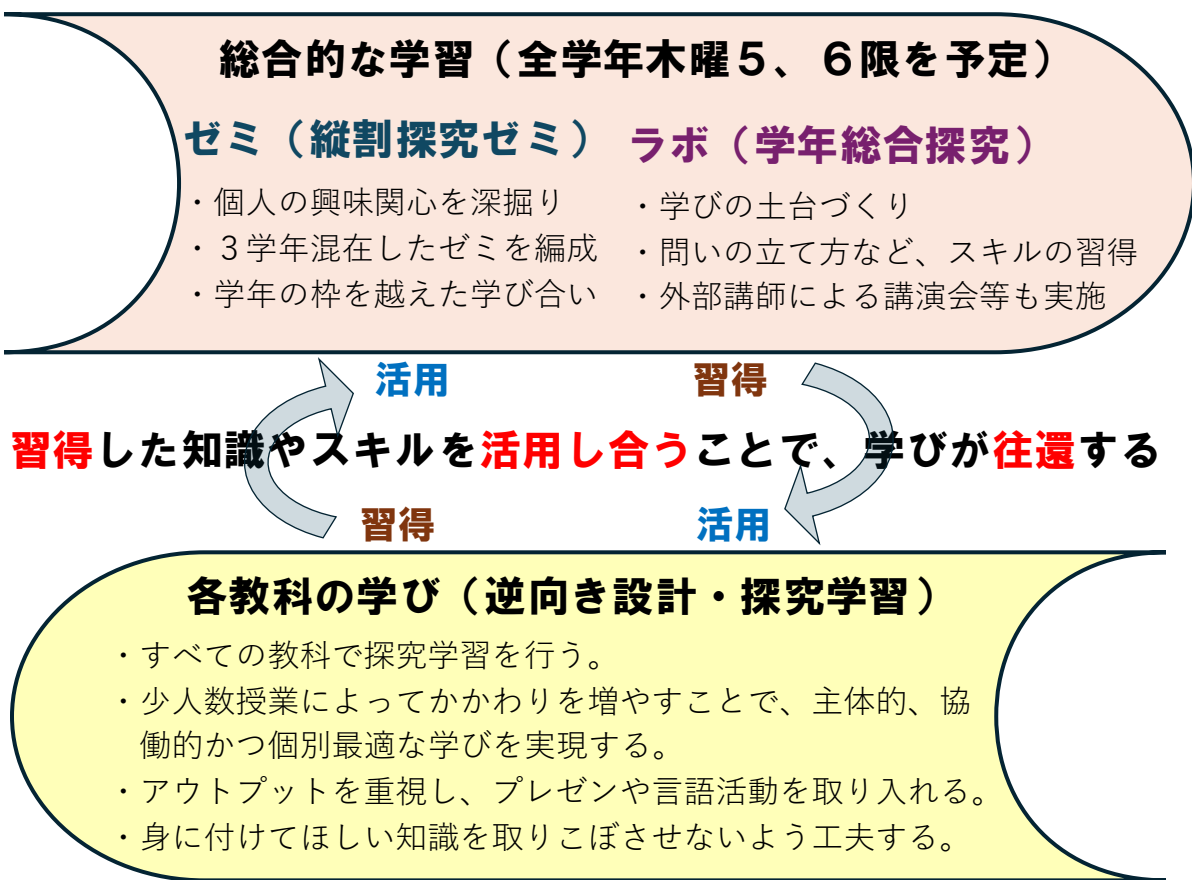
- ① 感性を磨く・・・1年生の音楽・美術は、それぞれ標準+0.2時間  
→芸術に親しみ、感性を磨きます。中学棟1階には共用ピアノが置かれています。
- ② 探究学習重視・・・すべての教科で探究学習を行います。また、総合は  
1年生で標準+0.6時間、2年生で標準+0.5時間  
→総合的な学習と各教科で、往還的に知識やスキルを身に付けます。
- ③ 高校の文理融合とSSHの学びに接続  
・・・2年生の数学、3年生の国語と英語は、標準+0.5時間  
→文系理系に偏らない学習を意識します。また、知識とスキルの双方を偏りなく習得することを重視します。

### 3 生涯活用できるスキルの習得

生徒は、授業や活動を通して様々なスキルを身に付けます。スキルが身に付いていると、新しい学習内容に出会った時や困った時に、その解決に向けた見通しがもてます。これは、答えのない、常に新しい課題に出会う現代では、生涯あらゆる場面で生かされる大切なスキルと言えます。

スキル	スキル活用の場面や具体的な姿(例)
①コミュニケーション	発表や討論で、考えを伝え、相手を理解する
②協働	討論や活動に対して、友達と協力して取り組む
③管理・調整	見通しをもって日々の予定や時間を管理する
④情動	自分の感情やリラックス・集中をコントロールする
⑤振り返り	学びや活動を振り返り、次の選択をより良くする
⑥情報リテラシー	活動に必要な情報を見つけ、信頼性を見極める
⑦メディアリテラシー	資料やメディアを正しく理解し、適切に使用する
⑧批判的思考	事実と意見を区別して考え、論点を正しく分析する
⑨創造的	可能性を追求し、独自のアイデアを作品に取り入れる
⑩転移	学んだことを他の教科や別の場面で生かす

### 5 2本柱で行う総合的な学習と、各教科の学びの往還



### その他

#### ○ チーム担任制

学級担任を一人に固定せず、学年のすべての教師がすべての生徒を担当する、というイメージです。また、学級づくりを生徒自身に委ねることで、生徒が学校生活に主体的に関わっていただけるように支援します。

#### ○ 生活クラスと授業チーム

朝と帰りのSTや給食の時間、道徳や特活の授業は、1組と2組の「生活クラス」で過ごします。一方、教科の授業は、A、B、Cの「授業チーム」で行われます。各チームには、1組・2組から同じ人数ずつ振り分けています。

#### ○ 制服の紹介

ネクタイの色以外は、高校に準じた制服となっています。靴や靴下も含めて、国際社会で活躍する時習生としての『品格』を備えた着こなしを身に付けます。



### 4 国際バカロレア（以下「IB」と表記）の導入

時習館は中高ともにIB認定校を目指しており、令和8年4月時点では「候補校」となっています。IBは、多様な文化を尊重し、平和な世界を目指す、探究心や思いやりを富んだ若者の育成を目的としています。また、人々がもつ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる児童生徒の育成を目指しています。

IBの導入により、日本や世界の様々な学校とのIBネットワークが構築され、時習館が目指す教育活動がより充実したものとなります。これからも、IBの理念を尊重しながら、失敗を恐れずに何ごとにもチャレンジし、「自考自成」と「ウェルビーイング」の実現を目指す生徒を育成していきます。

IB入門動画はこちら



附属中はMYP (Middle Years Programme) の候補校になりました。



### 6 世界に目を向け、自己の可能性を広げる

#### GCP (Global Competence Program)

ALTの授業とは別に、週1回外国人講師による授業。英語活動を通して、多様な考え方を学びます。また、イングリッシュキャンプ（中1：3日間通学型、中2：2泊3日宿泊型）も企画します。

#### 姉妹校との交流

イギリス、ドイツ、マレーシア、タイをはじめとする姉妹校からの留学生とかわる機会を設けます。また、姉妹校とオンラインで交流することも考えています。

#### 高度な学びに触れる機会を提供

英検や漢検などの検定や各種資格試験、コンクール、海外留学などの情報を積極的に提供します。また、高校で行われる7限授業について、希望すれば受講できる仕組みを取り入れる予定です。「医学探究」や「国際探究」などの特色ある授業を予定しています。



### 年間行事予定 (令和8年2月時点の予定)

★は中高合同で行うもの ◎は中学校単独の行事や高校と時期が違うもの

4月	★入学式・始業式 ◎オリエンテーションウォーク ◎保護者学習会①、授業公開	10月	★体育祭・ファイヤーストーム ◎保護者学習会⑤、授業公開 ◎自考自成ウィークIII
5月	★PTA総会 ◎自考自成ウィークI ★クラスマッチ	11月	★芸能鑑賞会 ★秋祭・文化発表会 ◎県民の日学校ホリデー
6月	◎ガチ勉ウィークI ◎保護者学習会②、授業公開	12月	◎ガチ勉ウィークII ◎保護者会
7月	★時習祭 ◎保護者会 ◎イングリッシュキャンプ(通学型)	1月	◎入学者選抜(適性検査・面接)
8月	★夏季休業 ◎保護者学習会③ ★授業開始(8/31)	2月	◎保護者学習会⑥、授業公開 ◎ガチ勉ウィークIII
9月	◎自考自成ウィークII ◎保護者学習会④、授業公開	3月	★クラスマッチ ★終業式(高)、修了式(中)

※高校の学力強化期間中、中学校はガチ勉ウィーク、自考自成ウィークとなります。ガチ勉ウィーク……午後の授業を「ガチ勉タイム」とし、校内において知識の定着を図るための学習に取り組みます。自らの課題や目標に応じた方法で進めます。

自考自成ウィーク…午後の授業をすべて総合的な学習の時間とし、学校内外で探究学習に取り組みます。

